

■ 清須市地域公共交通計画に係る取組状況の評価（案）

1 施策の実施状況

基本方針	目標	達成指標	令和2年度		取組状況の評価
			目標	実績	
I	①あしがるバスを核とした移動利便性の向上	鉄道との乗継を考慮したあしがるバスのルート設定	実施	次期改正に向け調査・研究	市内に複数ある鉄道駅へのあしがるバスの乗り入れを継続して実施しつつ、ルート・ダイヤの最適化に向けた次期ルート・ダイヤ改正の検討を進めている。
	②鉄道・バスを利用できない障害者・要介護者等を対象とした移動手段（STS（※1））の確保	タクシー料金助成制度の継続実施	実施	制度に基づき実施	障害者に対するタクシー料金助成制度を実施し、福祉の推進、外出機会の確保・増加を図った。
		福祉有償運送制度の継続実施	実施	制度に基づき実施	また、障害者や要介護者等に対する安全・安心な輸送サービスを確保するため、福祉有償運送制度の適切な運用を図り、現在は3法人により行われている。
II	④地域公共交通に関する積極的な情報発信	あしがるバス利用促進イベント等の開催回数	1回以上	0回	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度のイベントは全て中止となったが、広報清須、市ホームページ、バスロケーションシステムのお知らせ欄等を通じて、あしがるバスにおける感染防止対策の周知を図った。今後は、感染防止対策を講じた上で実施可能な利用促進方法を検討する。 また、名古屋タクシー協会からの情報提供を受け、市ホームページに、タクシーにおける新型コロナウイルス感染防止対策を紹介するページを作成した。
		コミュニティバス乗り方教室の開催回数	1回以上	0回	
		タクシーに関する情報発信	実施	新たに実施	
	⑤地域公共交通サービスの充実	バスロケーションシステムの運用	運用	計画通り運用	バスロケーションシステムを運用し、バスの運行状況を発信するとともに、お知らせ欄を通じた臨時的迂回運行等の周知にも活用している。また、迅速な問い合わせ対応にも繋がっている。 次期ルート・ダイヤ改正に合わせたバス情報のオープンデータ化に向けた調査・研究を進めている。
		バス情報のオープンデータ化	調査・研究	次期改正に向け調査・研究	
	⑥安心・安全かつ円滑・快適に利用できる駅前環境の整備	自転車等放置禁止区域の見回りの実施	実施	計画通り実施	定期的に自転車等放置禁止区域の見回りを実施し、自転車の放置防止に関する啓発に努めている。 清洲駅前土地区画整理事業では、区画道路の導水路築造、埋蔵文化財調査及び移転補償を行った。 新清洲駅北土地区画整理事業では、駅前広場予定地の地下に地区内の雨水を貯留する調整池の築造を行った。また、建物等の移転を進め、宅地整備や雨水排水路、下水道、ガス、水道等のライフラインの整備を行い、道路築造を進めた。
土地区画整理事業の推進（JR清洲駅）		実施	計画通り実施		
土地区画整理事業の推進（名鉄新清洲駅）		実施	計画通り実施		
III	⑦市民・交通事業者・行政の協議の場づくり	地域公共交通会議の開催回数	3回以上	4回	地域公共交通会議を4回（うち1回は書面開催）開催し、清須市地域公共交通計画のスケジュールに基づく事項を中心に、市民、交通事業者、関係団体との協議を行った。 今後は、次期ルート・ダイヤ改正に向けた協議を中心に、適切に会議を開催し、地域公共交通の推進を図る。
		地域公共交通会議への市民委員の参加	参加	参加	
	⑧市民ニーズの把握	市民アンケート調査等の実施	実施	計画通り実施	令和2年11月から12月にかけて、「公共交通に関する市民アンケート調査等」を実施し、市民ニーズや実際の乗車状況を把握した。 今後は、調査結果をもとに、次期ルート・ダイヤ改正に向けた検討を進める。

※1 STS（Special Transport Service スペシャル・トランスポート・サービス）とは、障害者、要介護者等の移動制約者を対象とした個別輸送サービスの総称。

2 施策実施の成果

基本方針	目標	達成指標	令和2年度		取組状況の評価
			目標値	実績値	
I	①あしがるバスを核とした移動利便性の向上	あしがるバスの収支率	8.9%	7.3%	<p>あしがるバスの収支率については、人件費や車両借上料が増加している一方で、あしがるバスの利用者数が低迷し、運賃収入が例年に比べて減少したことから、目標値を下回る結果となった。</p> <p>あしがるバスの利用者数が目標値を大きく下回った要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令等による外出自粛の影響から、令和2年4月から5月までを中心に公共交通の利用を控える傾向が高まったためと推察される。</p> <p>この状況に対応するため、現在、感染防止対策を講じた上であしがるバスを運行するとともに、安心してバスを利用できる環境であることの周知にも努めている。</p> <p>その結果、季節の影響による増減はあるものの、令和2年6月以降、利用者数は回復傾向にあることから、今後もこの取組を継続し、利用者数の増加を目指す。</p>
		あしがるバスを利用したことがある人の割合（※2）	—	—	
		あしがるバスの利用者数（年間）	85,300人	64,954人	
		【参考】 オレンジ グリーン サクラ ブルー	16,200人 25,300人 27,600人 16,200人	12,258人 21,460人 19,651人 11,585人	
		あしがるバスの利用者数（1便あたり）	5.4人	4.1人	
【参考】 オレンジ グリーン サクラ ブルー	4.1人 6.4人 7.0人 4.1人	3.1人 5.4人 5.0人 2.9人			
	③市内観光施設を巡る移動手段の確保	レンタサイクルの利用者数（年間）	150人	51人 （※R2下半期のみ）	<p>これまで、レンタサイクルは、来訪者の域内移動手段の確保及びあしがるバスの補完として実施していたが、利用者数の減少が続いたことから、令和2年10月から、観光に特化した事業としての運営を開始した。</p> <p>清洲城敷地内駐車場に屋根付きサイクルポートを設置し、清洲城の開館に合わせてレンタサイクルを実施しているが、令和2年度下半期の実績値が目標値の半数を下回っていることから、観光誘客の促進と合わせた事業の周知に努める。</p>
II	④地域公共交通に関する積極的な情報発信	あしがるバス一日無料デーの参加者数	400人程度	無料デー中止	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、あしがるバス一日無料デーは中止となった。</p> <p>多くの新規利用者が見込まれるイベントであるが、感染状況によって開催の可否が左右されるため感染防止対策を講じた上で実施可能な利用促進方法を検討する。</p>

※2 市民満足度調査結果により測定。